

# ヤマハニュース

YAMAHA NEWS NO.100

'71 **10** OCT.

'72 ヤマハスノーモビル発売!!

合歓の郷に大集合—ヤマハ  フェスティバル



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

共同募金  
大東京祭

体育の日  
阿寒マリモ祭

日光東照宮  
秋季渡御祭  
日本GP  
(16日、17日)

18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

新聞週間

読書週間

# 10月のカレンダー



秋

読書の秋、スポーツの秋  
そして食欲の秋

お店のお客さまにとっては  
ツーリングの秋です

SL(スポーツツレジャー)の活動を

一段と積極化し

新規・代替え需要の喚起を促進しましょう

またGYTパーツやヤングルック

その他の用品類もよく売れるときです

紅葉狩りは、北のほうで中旬以降から

溢みきった秋空のもと

ソロでも、グループでも

快適なツーリングが楽しめるのです

11月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30



# ヤマハ総合サービスセンター稼働!!

■充実した整備器具と信頼たかい技術員でバックアップ



バイクリフトの上で行なわれる信頼度の高い整備作業。販売店さんをバックアップして、安全を売るヤマハの姿勢がここにもみられる。



いらっしゃいませ……サービス業務の受付から進行状況、終了に至るいっさいの事務はこのフロントで



適格な整備作業がすすめられるひろびろとした作業場

ここ数年の傾向として、大型二輪車の普及が指摘できますが、ヤマハではXS 650、RX 350、RT 360の急増に対処して、サービス体制の拡充を着々とすすめています。

全国各地にヤマハ総合サービスセンターが

建設されているのもその一環で、東京、名古屋、仙台ではやくも稼働しているほか、この十月には大阪もオープン、さらに各支店単位に主要地区で重点的に建設がすすめられています。どうぞご期待ください。

ここ「ヤマハ総合サービスセンター名古屋南」は、全国のトップをきってオープンしたサービスセンターで、面積約二〇〇平方メートルの作業場には、全国でも初めてといわれるシャシーダイナモーターをはじめ、二輪車専用リフト（バイクリフト）、モータースコップ、CO（一酸化炭素）測定器など、近代的な整備器具がずらり配置され、また船外機のテストスタンド（ホイスト付き）も設けられるなど、スノーモビルを含めあらゆるヤマハ製品の整備が行なわれる体制がしかれています。

当面の作業は、自動二輪車の車検整備が主業務となっていますが、法令にもとづく定期点検や水害など緊急業務にも対応できる手筈も整えてあり、またモーターサイクル・スポーツの振興に対処して、エンジンやフレーム関係、足まわりなど、一般的なチューニングアップの技術指導も受付、販売店さんのよき相談相手として全面的なサービス体制のバ



真っ黒によこれた車を、あつという間に磨きあげる  
 高速水洗機も自慢の器具のひとつ。



次々とおくりだされて販売店さんを待つ作業終了車のスペースもゆつたり。

ツクアップを図るものとしています。

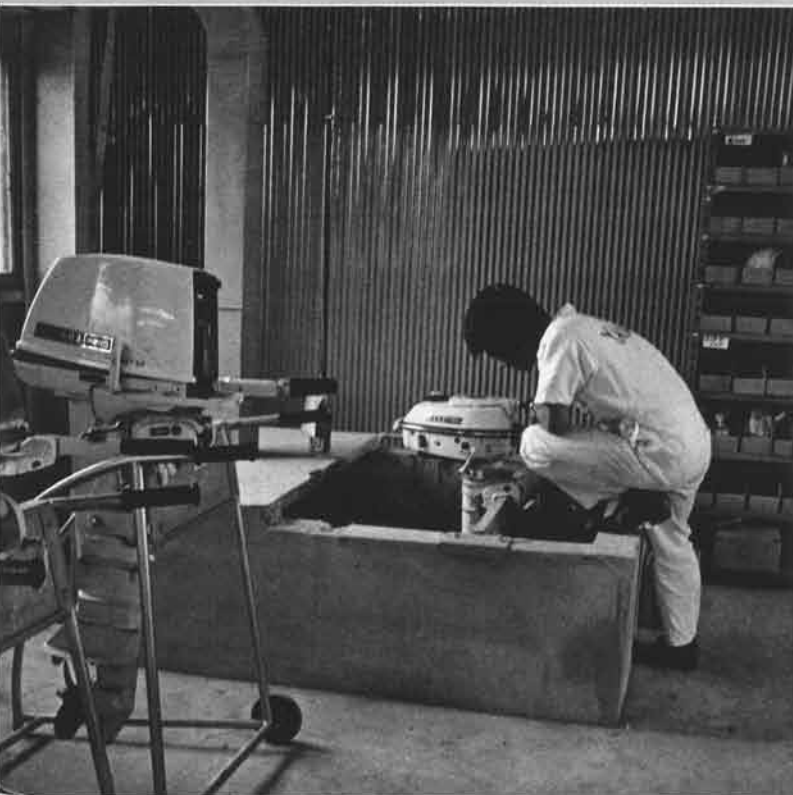
今後ますます増加していく大型二輪車の需  
 要は、必然的に車検整備の業務を拡大してい  
 くこととなりますが、こんごはヤマハ総合サ  
 ービスセンターの増設によって、さらに業務  
 のスピード化が図れることとなります。

充実した整備器具にプラス信頼度の高い技  
 術員が、お店のみなさまのサービス体制をよ  
 り大きく強化していくわけです。



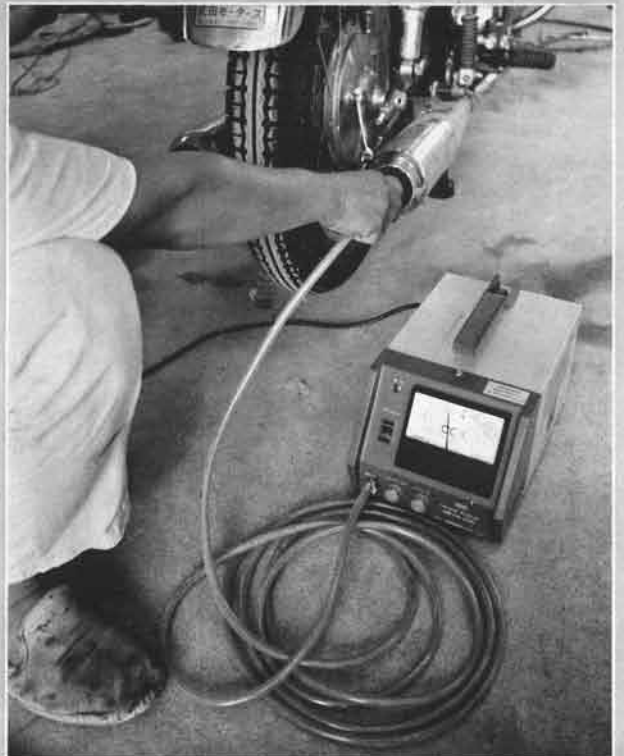


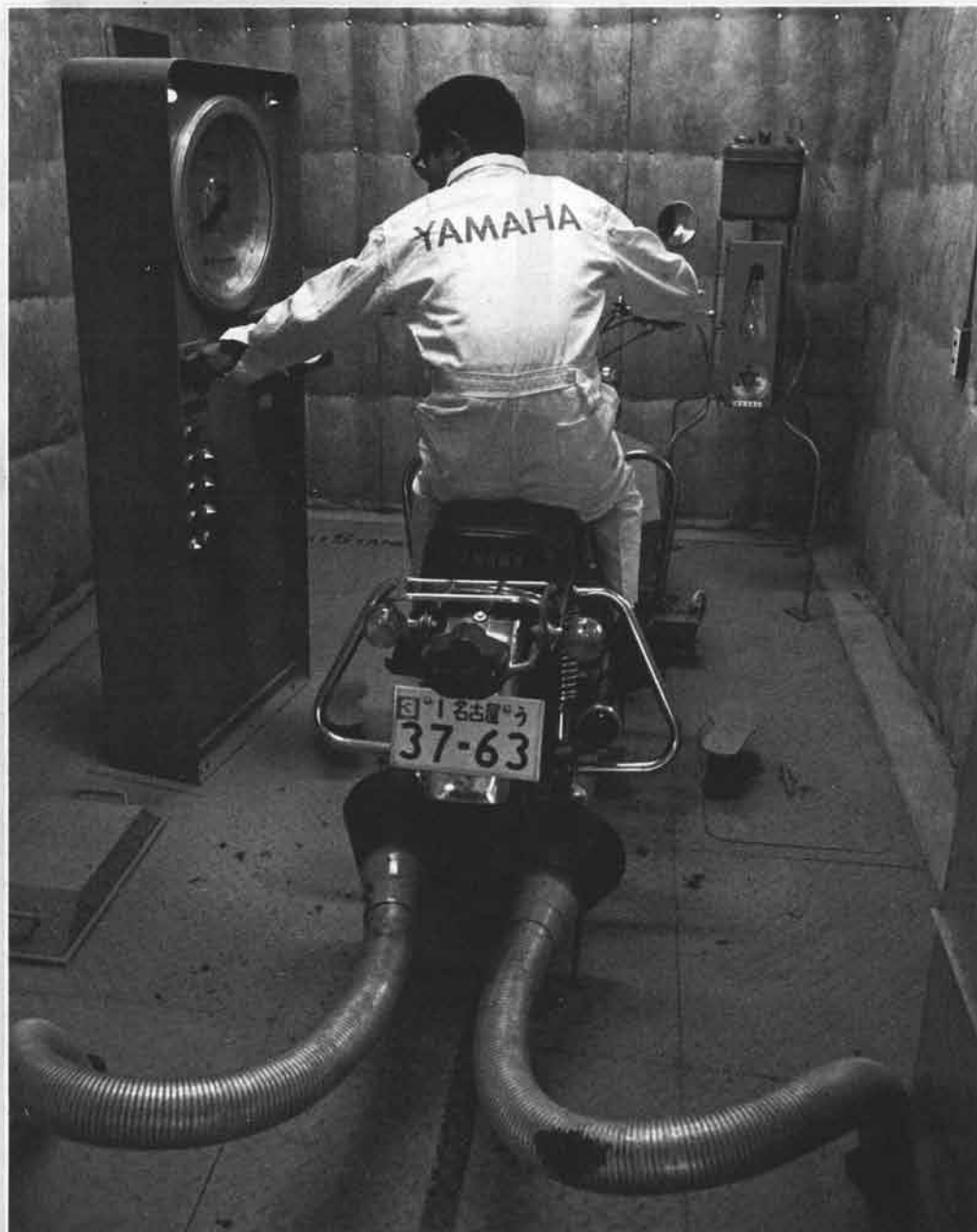
点火、充電など、電気まわりはモータースコープが威力を発揮。ブラウン管に示される波形で良否は即座にわかる。



般外機テストタンク。その場ですぐにテストが行なわれ、作業能率は高い。

公害防止面も強化。排気ガスの一酸化炭素をはかるCO測定器。





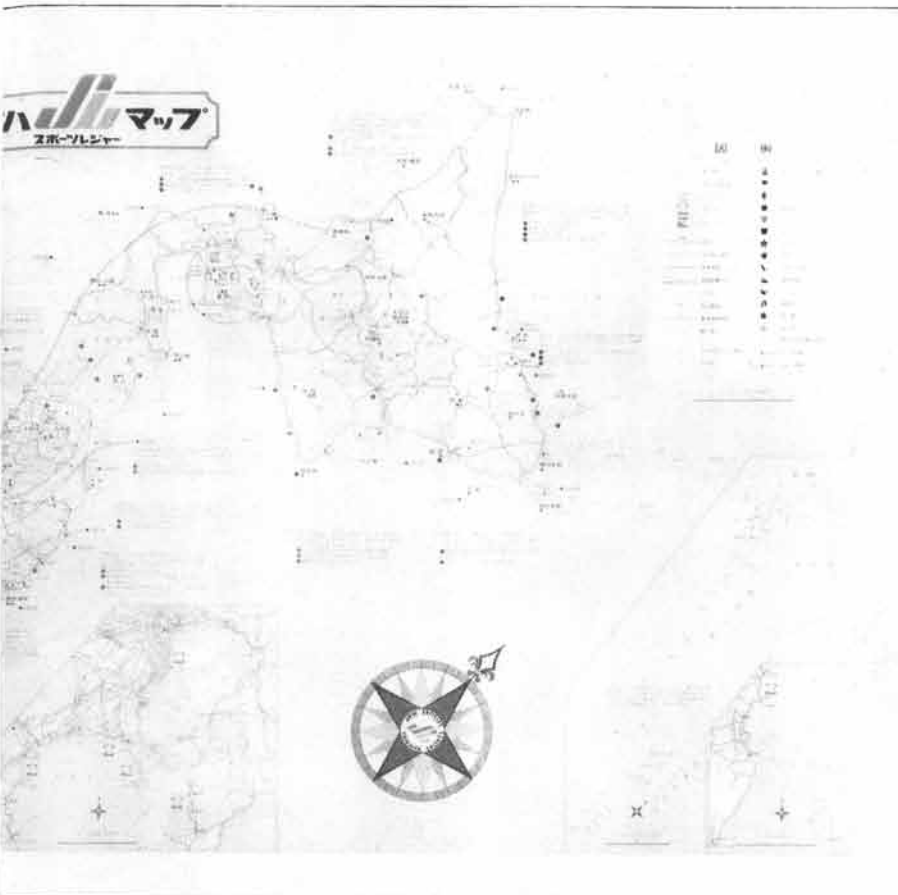
馬力、トルク、燃費、スピードなど、いっさいの性能が即座に測定できるシャシーダイナモメーター。  
整備状態が一発でわかる。



仙台では土地柄、はやくもスノーモビルの整備に  
シャシーダイナモはフル回転。



ヤマハ SL マップ  
スポーツレジャー



# ヤマハ



# マップ 完成!

行楽の秋を迎えて、スポーツに、ツーリングに活躍する若いお客さま必携のマップ、ヤマハ SL マップが完成しました。

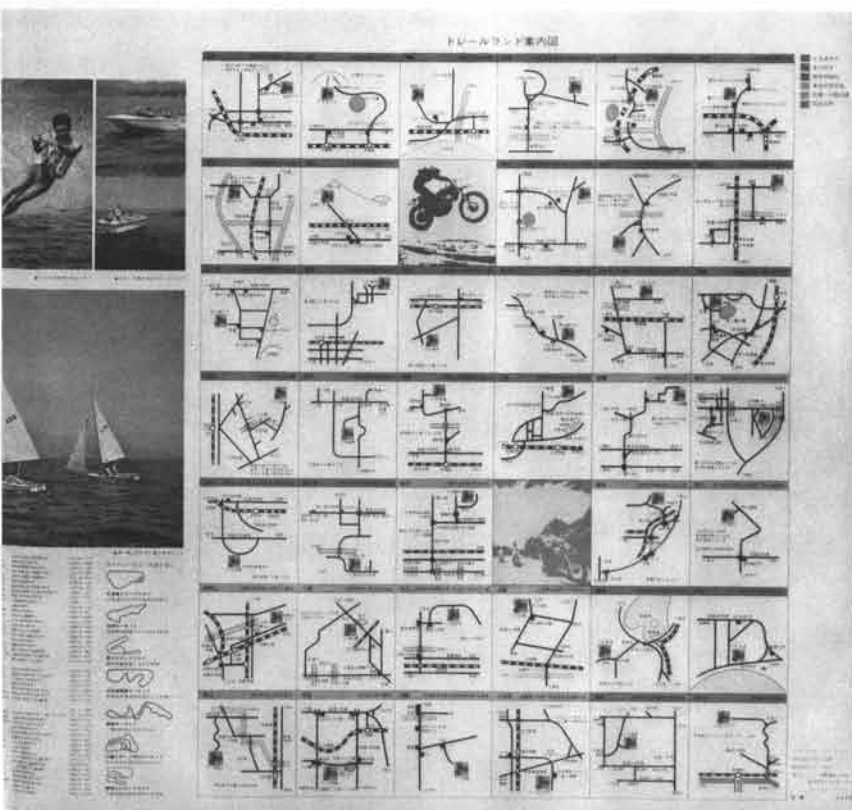
大きさは 145×50 cm のジャンボマップで、両面カラー印刷の豪華版。内容は全国主要道路、区間距離がひと目で分かるほか、観光地の紹介、全国ヤマハトレールランド、スノーランド、マリナー、ロードレース場、ヤマハ特約店、営業所、支店、本社の所在地、さらには紅葉前線、桜前線まで収録した他に例をみないユニークな編集です。

またオートバイ・スポーツや、ボート/ヨットによるマリン・スポーツ、フィッシング、スキndaイビング、スノーモビリングなどの解説もあり、文字どおりの SL = スポーツレジャー = マップとなっています。

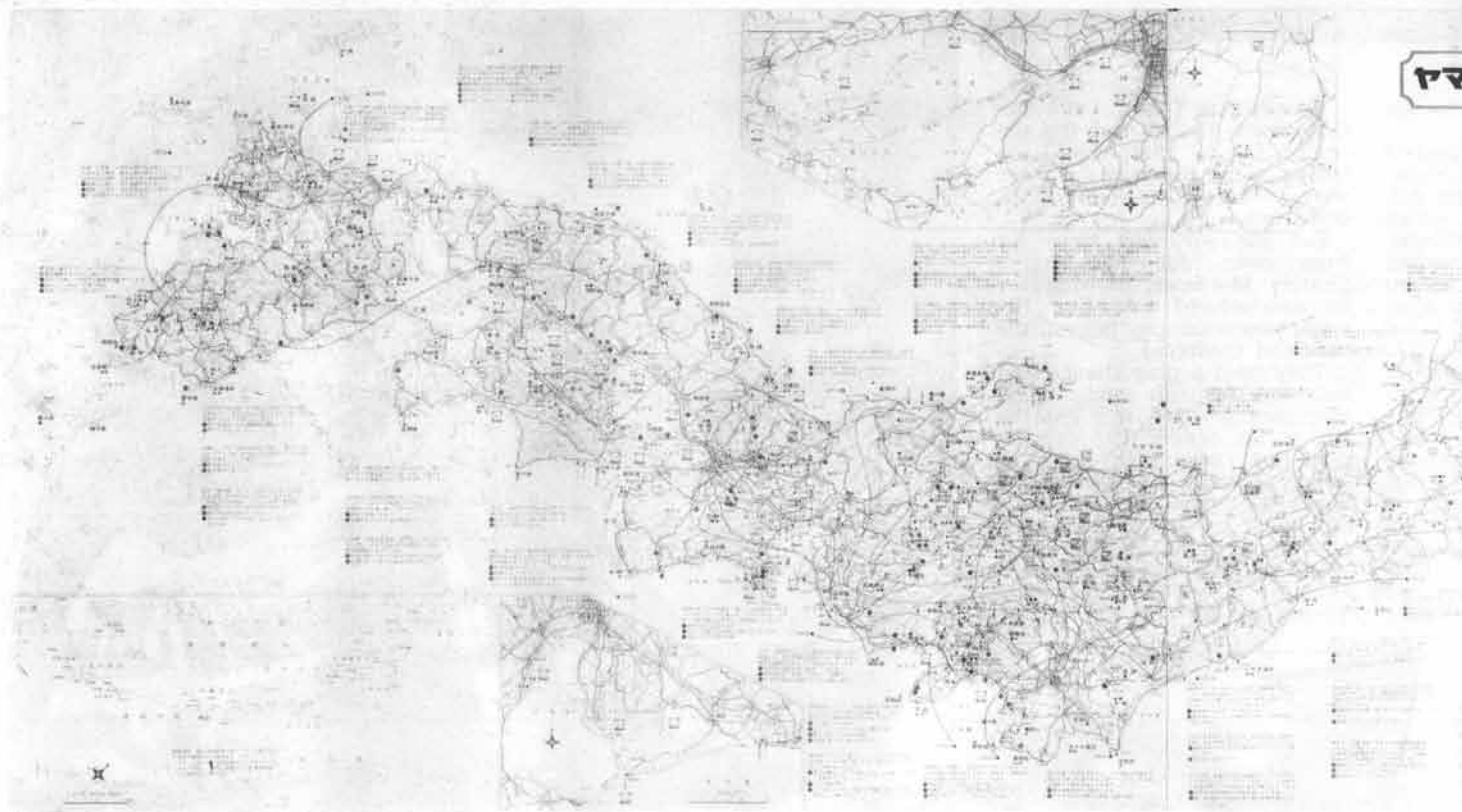
しかも頒価は一冊 200 円と誰にもお求めやすい値段となっています。

どうぞお店のお客さまにご紹介ください。喜ばれるヤマハ SL マップです。

(このヤマハ SL マップの販売については担当のセールスマンにおたずねください)







**ヤマハ**  
スノーレジャー

ヤマハレジャー株式会社

ヤマハで楽しく

レジャーを楽しむ

レジャーを楽しむには、まず楽しい乗り物が必要です。ヤマハのレジャー用バイクは、その楽しさを最大限に引き出すために、最新のテクノロジーを駆使して開発されています。軽快な加速、安定した走行、そして美しいデザインが、あなたのレジャーを一段と楽しくしてくれます。



ヤマハのレジャー用バイクは、その楽しさを最大限に引き出すために、最新のテクノロジーを駆使して開発されています。軽快な加速、安定した走行、そして美しいデザインが、あなたのレジャーを一段と楽しくしてくれます。

ヤマハのレジャー用バイクは、その楽しさを最大限に引き出すために、最新のテクノロジーを駆使して開発されています。軽快な加速、安定した走行、そして美しいデザインが、あなたのレジャーを一段と楽しくしてくれます。

ヤマハのレジャー用バイクは、その楽しさを最大限に引き出すために、最新のテクノロジーを駆使して開発されています。軽快な加速、安定した走行、そして美しいデザインが、あなたのレジャーを一段と楽しくしてくれます。



ヤマハのレジャー用バイクは、その楽しさを最大限に引き出すために、最新のテクノロジーを駆使して開発されています。軽快な加速、安定した走行、そして美しいデザインが、あなたのレジャーを一段と楽しくしてくれます。

ヤマハのレジャー用バイクは、その楽しさを最大限に引き出すために、最新のテクノロジーを駆使して開発されています。軽快な加速、安定した走行、そして美しいデザインが、あなたのレジャーを一段と楽しくしてくれます。

# TOP

to his  
leaders  
right-  
nd fol-  
valley  
Williams'  
ceeding  
by no  
at after  
h a bad  
he MZ,  
fortimer

Accelerating out of the Governor's dip, he had felt the engine nip up sharply and, on letting in the clutch again, there were "nasty noises" from down below.

But the surprises were far from over, for next came Charles Mortimer, slowing for an unscheduled pit stop. His crew examined the left of the bike and conferred.

They tried a plug change, but that was fruitless and, sadly, Mortimer wheeled the Yamaha out of the action. The exhaust pipe had come adrift back at Sulby. Though he had toured back relatively slowly (while still holding third place) a piston had holed.

Out of luck, too, was Gordon Pantall (Padgett Yamaha). Though his pit stop was



long Glencrutchery Road and  
n into the third lap, Gould  
pp  
the pacemaker as  
ed round the  
Bennett

not only gained the upper  
but was a good 200 yards  
as they passed the Bun  
Indeed, that brought him  
striking distance of R  
third place as the la

世界一早く、世界一安定した性能をもつ市販レーサーヤマハ二五〇cc TD2は、今年もまた世界選手権ロードレースのチャンピオンマシンになりました。

ヤマハは、一九六八年度のシーズンにP・リードが一二五cc・二五〇cc両級のチャンピオンになったのを最後に、ファクトリーチームをエントリーすることをうち切りましたが、世界ロードレース史上に特筆される超高性能ワークスマシンの技術的な特色は、すべて市販レーサーにうけ継がれたのです。

ツイン、六段変速というFIMのレーサー仕様規定以内で、ヤマハはこの驚異の市販レーシングマシンを作りあげました。

世界選手権シリーズへの本格的なアタックは、'69年でしたが、東独のMZ、スペインのオツサ、イタリアのベネッリといった著名なワークスマシンとシリーズ全期にわたって互角以上の勝負を展開、ヤマハ市販レーサーの高性能を強烈に印象づけました。

翌70年度のシーズン、前年のすぐれた成績に刺激されて、選手権シリーズの二五〇cc級に出場するトップクラスのライダーのほとんどすべてがTD2を使用することになり、選手権は、オーストラリアのK・キャラザースと英国のR・ゴールド両ヤマハラライダーの間で争われましたが、ゴールドが僅差で初のタイトルを獲得しました。

今年のシーズンも開幕以来TD2は着実に勝ち星を積み、第九戦のフィンランドGPま

READ IS BACK ON

ヤマハ世界選手権シリーズ連覇!!

# 世界のトップは ヤマハを選んだ

ually a total stranger  
mount.  
Even as the  
ked through the  
er at Ballacraigne  
ed the wooded  
ward on Helen, W  
stiaris was pro  
He trailed Read  
more than 6s — and th  
osir at least 7s throug  
st third, 9s behind  
came Charles M  
(Yamaha).  
But already two  
possible challengers wer  
it. Even before the rac  
Rutter had been dubiou  
the cogs of his Yamal  
now he was stuck at  
Mills. And for MZ chief  
Kaaden there was th  
news that a melted pis  
eliminated Bartusch at  
Castle.

で七勝をあげ、シリーズ終了前に早くも二年連続のチャンピオンマシンになったのです。ライダータイトルは、現チャンピオンR・ゴールド、元チャンピオンP・リードの間で激しく争われていますが、そのほか各GPの上位はすべてTD2のライダーによって独占されています。

ではゴールド、リード、両ヤマハエースの活躍にスポットをあてて、71年度世界選手権シリーズのハイライトを追ってみましょう。

## ▼第一戦 オーストリーGP (五月九日)

今年初めてシリーズに加わったオーストリーGPは、一周二マイルのサルスブルクのサーキットで行なわれた。R・ゴールド、K・アンデルソン、P・リードの強力ヤマハトリオは優勝候補の最右翼であったが、全く意外にもヤマハはこのラウンドでふるわず、東独MZチームに名を成さしめることになった。常勝ヤマハが優勝できなかったのは全くの番狂わせという印象であった。

## ▼第二戦 西独GP (五月十六日)

一九六八年以来チャンピオンシップから遠のいているベテランP・リードは、今年のタイトル獲得に非常に意欲的であるが、かつてのサイドカーチャンピオンH・ファートが特にチューンナップしたTD2で出場、二十三週の二五〇cc級レースのスタートからリードをうばった。

昨年のチャンピオンR・ゴールドはこのラウンドもまた調子がでず、無得点に終わった。圧倒的なリードを保って力走するリード選手に後続するライダーは、全部がヤマハTD2を使用し、実力伯仲の二位争いが興味を呼んだが、首位リードに約二十二秒の差でK・ヒューベルが二位に入賞した。

## ▼第三戦 マン島TTレース (六月九日)

三七・七五マイルの山手コース四周のTT二五〇cc級レースは、六月九日、濃いもやとかなり強い風の中で行なわれた。

TTコースを得意とするP・リードが快調なスタートでトップを堅持、第一ラップで早くも一〇〇・〇八マイル/時というオーバートンの大記録を樹立した。

リードに次いでMZ工場レーサーのP・ウイリアムズが二位で第一ラップを完走したが第二周に入って間もなくピストンリングの破損でリタイアした。

二周以後リードは余裕をみせてペースをおとしたが、首位はがっちり確保、二位はゴールドと、これもまたヤマハのB・ランドルが烈しく争った。

やや有利にレースを展開していたゴールドは三周目完走直後に燃料補給のためにピットインし、約三十六秒をロスした。

トップのリードは最終周に入って更にスローパーズになったが、二位ランドルに約二分四秒の大差をつけてTT二五〇cc級のウイナ



▼英国ディーラー、パジェット社のヤマハ



ーになった。

過去四回チャンピオンになり、TTレースでは一二五cc級で二度優勝したことがあるが二五〇cc級優勝はこれが初めてであった。

リードはこれで一躍二五〇cc級タイトル争いのポイントリーダーになった。

#### ▼第四戦 ダッチTTへ六月二十六日

オランダ北部アッセン近郊のバンドレントのサーキットに、約十三万五千の大観衆をあつめて行なわれたシリーズ第四ラウンドのダッチTTは、TT優勝の余勢を駆るP・リードが全く独走の形で完勝、西独GPからストレートに三勝し、タイトル獲得への大きな足がかりをつくった。

ライバルのR・ゴールドはこのラウンドでも勝運に見離され、十周目で棄権した。

二位のT・バルト以下十五位までがヤマハのライダーによって独占された。

#### ▼第五戦 ベルギーGPへ七月四日

世界の超高速コースとして知られるベルギー・フランコルシャンのサーキットで行なわれた第五ラウンドも闘いとして、今年のタイトルをほぼ確定しようとするP・リードはスタートから時速百二十マイルをオーバーするハイペースで首位に立ったが、東独MZのS・グラセッティが健闘してこれに迫った。

二周目、高速でヘアピンカーブに突入する際、リードは力余ってコースを逸脱するとい

うミスを演じてしまった。

リード必死のマシンコントロールによって惨事はまぬがれたが、時速約十マイルほどで鉄柵に衝突してストップした。

グラセッティは幸運な勝利を拾い、第一戦のオーストリアGPに次ぐシリーズ二勝目をあげた。

#### ▼第六戦 東独GPへ七月十一日

世界選手権シリーズの中盤戦東独GP二五〇cc級は、リード、ゴールドの両エースに、昨年一二五cc級のチャンピオンになったD・ブラウンがヤマハで参加、三ツ巴のスリリングなレースを展開した。

第五戦まで不本意な成績に甘んじていたゴールドが、このレースで初めて本来の実力を発揮、二周目からリードをおさえてトップに進出、十五週のレースの中十周までこの両ライダーの間に首位が目まぐるしく入れかわった。

十周目の後半、それまで三位についてチャンスがうかがっていたブラウンがいつきにスタートして先行両ライダーを抜いた。

レースはヤマハトリオの首位争いになったが、ブラウンは両エースに伍してみごとなレースを展開、最終周一度リードに首位をうばわれたがすぐにうばい返し、二位ゴールドに約〇・五秒の差をつけてシリーズ初優勝を飾ったのである。

惜敗したゴールドも快調であり、シリーズ



▼ゴールドのメカニック、N.クラーク (左)



後半戦の反撃に期待を抱かせるレースぶりであった。

### ▼第七戦 チェコGPへ七月十八日

ブルノサーキット(一周八・七マイル)で行なわれたチェコGPプラクティスで思いがけない事故が起った。

タイトル争いのトップにあったリードがクラッシュして右肩骨折の重傷を負い、このラウンドをミスすることになったのである。

リードの棄権で、ゴールドがシリーズ初の優勝を果すものと期待されたが、デーラーエントリーのヤマハTD2に乗った無名のハンガリーライダーJ・ドレーパルが、九週のレースをスタートからリードするという番狂わせが生じた。

ドレーパルは、これもヤマハに乗ったし、スザーボに後塵を浴びせて、選手権レース初優勝を遂げたが、ハンガリー人ライダーの世界選手権レース優勝は彼が初めてである。

### ▼第八戦 スウェーデンGPへ七月二十五日

一九六一年、クリスチャンスタットのサーキットで行なわれて以来十年ぶりで、選手権シリーズのラウンドとして開催されたスウェーデンGPには、新設のアンデルストープ(一周二・四九マイル)が使用された。

R・ゴールド、K・アンデルソンの両ヤマハが快調なスタートをきったが、第一周目の終りまでにはゴールドがトップに進出、以後

ゴールドは全く危なげなくレースをリード、今年初の勝ち星をあげた。

シリーズ開幕以来不運続きで、タイトル防衛があやぶまれていたゴールドは、この勝利によってポイント首位のリードに十五点差と迫ったのである。

### ▼第九戦 フィンランドGPへ八月一日

今年のチャンピオンシップに対するP・リードの意欲は強烈で、チェコGPの負傷をおして出場したが、結局十位に甘んじて得点一を記録したにとどまった。

十一週のレース序盤で、英国の新鋭C・モーターティマー(ヤマハ)がダッシュしてトップになったが、一周目の後半でゴールドが首位に進出した。

前ラウンドの勝利で気をよくしているゴールドが、オーストラリア人のライダーJ・ドッズ(ヤマハTD2)に約十秒の差をつけて連勝した。

十五点を加えたゴールドに対して、リードはわずかに一点、両者のタイトル争いはますます興味深くなったが、ヤマハマシンの勝ち星はこれで七つ、二五〇cc級シリーズ十二ラウンドの過半数の優勝を果したわけであり、前年に引き続き、市販レーサーTD2はチャンピオンマシンの栄冠に輝いたのである。

足で集めた東京の二輪車界の話題です。時代を先取りしている東京の状況をすばやくキャッチし、お店へのお客さま対策も、先手先手をとってください。

お店のお客さまの中で強制保険や共済保険など、法令で定められた保険に加入してない方はいませんか？

また、お店のお客さまに対する安全指導は完全に行なわれていますか？  
 今月は、最近とみに世論の注目を集めている、オートバイの安全問題をめぐる動きにスポットを当ててみました。

## 付保率向上をめざして監視員を…

強制保険や共済保険など二輪車の保険加入率が年ごとに減少し、原付車にいたっては五〇％台に落ち込んでいます。

運輸省は、こうした傾向を重くみて、街頭に監視員を配置し、付保率向上に積極的に対処する方針をとるようになりました。

この監視員は、全国の各陸運事務所ごとに四〜五名を配属し、街頭での無保険車の摘発に当るわけで、摘発車には、警告書を送付して保険に加入させようというものです。

現在全国に、原付車は八百万台以上も走っています。これに軽二輪車、軽四輪車を合わせると、優に千四百万台を突破します。

そのうえ、これらの中で保険加入車が六割にも満たないというのですから問題です。それどころか、四一年に強制保険が制定されて以来、年々付保率が減少しているというわけですから、運輸省もこの対策に本腰を入れてきたのです。

それというの、こうした低付保率のため国が無保険者に対して支払った保償額は、これまで二十一億円を越え、うち加害者からの

回収は、わずか三億円しか上っていないということも大いに影響しているわけです。

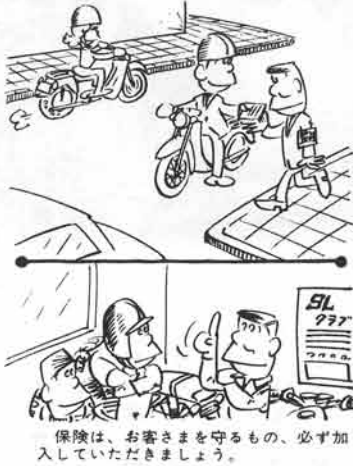
無保険車が増えれば、それにつれて事故による国の支払額も当然増える一方です。

これをなんとか防止し、付保率の向上を計ろうとスタートしたのが、今回の監視員制度です。

陸運事務所は全国に五十二カ所ありますが原付車の無保険車摘発は、市町村役場の全面的な協力のもとに行なわれます。

具体的には、保険標章、共済標章を表示していない車は、車両番号や標識番号をチェックし、所有者を市町村役場で確認したうえで、警告書が送付されます。

この警告書は、往復ハガキで、返信用には保険会社の確認印が必要となっています。そのうえ、この警告書を無視して放置しておく、六カ月以下の徴役、または五万円以下の罰金に処せられることになっています。



必ず加入していただきましょう。保険は、お客さまを守るもの。

こうした厳しい付保率向上運動を進める運輸省は、保険加入低下について「原付車や軽自動車は、保険が一年契約のため、継続契約を忘れてしまう。この代理店をつとめる販売

店の協力を大いに望みたい」とのこと。

お店でも、お客さまの保険加入運動を積極的に展開し、お客さまの不慮のトラブル対策をガッチリ立ててください。お客さまからも必ず喜んでいただけます。

## これからは、お店でも「安全」を売る時代

保険加入問題とともに、二輪車そのものに対する安全対策も、今日の大きな問題です。

この点でお店のみなさまの役割は、なんといつてもお客さまの愛車の医師役と、お客さまの運転技術のよき指導者であることです。

ヤマハは「交通安全教室」、「安全点検キャンペーン」などの実施で、この安全対策にも大きな成果を上げていますが、「これからの販売店は車ばかりでなく、安全」も売らなければ……というお店が目立って増えています。そんな中に、ユニークなクラブ活動でお客さまの運転技術のマスターに積極的に取り組んでいるお店があります。

このお店は、東京都台東区入谷のヤマハスポーツ店磯貝モーターズ（磯貝宏社長）さん。

磯貝さんは、若いときからのオートバイマニア、MCFAJの役員をつとめるほどですから彼と、お店のクラブ「オーストリッチクラブ」をご存知の方もいらっしゃるでしょう。

このクラブ、比較的平均年齢が高く、本当のオートバイマニアのクラブとして、ツーリングなどをゆったりと楽しんできたものでした。ところが、このクラブも年ごとにメンバーが入替り、現在の主流は二輪免許を手にしたばかりの若者に占められています。

したがって、これまでのようにベテランばかりが、ゆったりとツーリングしたり、ハイ

テクニクを要するハードツアーばかりというわけにもいなくなりました。

そこで磯貝さんは方向転換。まずヤングの運転技術の向上のための指導から始めようということになりました。

そこで考えたのがトライアル・ツーリングです。磯貝さんのこれまでの経験を生かし、適当な目的地を選んで、ツーリングに出かけます。そして目的地では、トライアルでライディングテクニクを磨いてもらおうというのが大きな目的です。

「単純なトライアルでは、多くのお客さまに親しんでいただけませんが、ツーリングを折込んでも大好評いただいた原因でしよう」と磯貝さん。

最近の需要傾向の中で、大型車への移向はひとつの大きな傾向です。そして、未熟運転とこの傾向が重なって交通事故を引起していることも、また確かなひとつの傾向です。

これを防ぐためには、お客さまのライディングテクニクの向上と、安全に対する認識がなにより。それには、このトライアル・ツーリングがピッタリというわけです。

そして、このようにお客さまに対する大きな意味のサービス、もつと大きくは、若いユーザーがビッグマシンに乗ることで親が抱く不安さえをも、考えてやるのが販売店の努めであると考える磯貝さん。

トライアル・ツーリングも日一日とお客さまが増えていきます。安易に車を売るばかりでなく、「安全」を売ることを心がけて、磯貝さんは、若いお客さまのトライアルぶりを見つめながら、確固たる信念を語ってくれました。

た。



新発売!!

# ヤマハスノーモビル S-300B ヤマハスノーモビル S-350C

シーズン開幕にさきがけて「ヤマハスノーモビル」主力2機種の'72年型をおとどけいたします。

スノーモビル世界選手権、同全日本選手権を制覇した技術のヤマハが、その研究成果をあますことなくおりこんだ新型S-300B、S-350C。スポーツにビジネスに、第一級の性能でスノーシーズンをリードし、大きなご商売をもたらす魅力の商品です。





# ヤマハスノーモビル S-300B



雪上を右に左に軽快な運動性能で新しいスノースポーツの世界をひらくS-300B。

のも大きなセールスポイントです。

またS-350Cは、よゆうある20馬力2気筒2キャブ方式のオートループ2サイクルのをせた強力型です。トラック巾も460mmと、S-300Bより広く抜群のけん引力を誇ります。

大型風防をはじめとする安全装備、アクセルひとつでスタートから最高速度までを自由にコントロールできる簡便な運転操作など、その取扱いはS-300Bとまったく同一。塗色はごらんのようにS-300Bが赤を、S-350Cは緑を主体にした3トーンで、軽快なストライプ入りとなっています。

ほかにオプションパーツとして帽子、ヘルメット、ゴーグル、コスチューム、セーター、ブーツ、セルスターター、タコメーターセット、風防(小型)などの用意があります。



## S-300B仕様諸元

全長	2,625mm
全巾	780mm
全高	1,030mm
重量	155kg
燃料消費率	6.5km/ℓ (30km/h) } 平坦路しまり
最小回転半径	4.5m } 雪の場合。
登坂能力	20°
エンジン型式	2サイクル5ポート
冷却方式	強制空冷
シリンダー数・配列	単気筒
総排気量	292cc
最高出力	18ps/6,000rpm
始動方式	リコイル式ハンドスターター
※セルスターター取付可能。(デコンプレッサー付)	
燃料タンク容量	13.5ℓ
変速機型式	Vベルト式自動変速機
ブレーキ型式	キャリバー式ディスクブレーキ
トラック巾・数	380mm-Single
前照灯、尾灯、ストップランプ、方向指示器(前)つき。	

(注)新雪走行性能：雪質によりますが、歩行時に雪面がヒザ程度までなら走行可能。

S-300Bのエンジン部(上)とアシスタントグリップ(減圧装置)付でスタートは容易だ。





# ヤマハスノーモビル S-350C



よりゆたかなスノーライフをめざしてビジネスにレジャーに活躍の場を広げるS-350C。



カバード化されたS-350Cのエンジン部。ホーン、フラッシュャー、デイマのスイッチ類はすべて左グリップのワンハンドコントロール式。

## S-350C仕様諸元

全長	2,610mm
全巾	790mm
全高	1,120mm
重量	185kg
燃料消費率	5.0km/ℓ (30km/h) 平担路しまり
最小回転半径	4.0m 雪の場合。
登坂能力	20°
エンジン型式	2サイクル5ポート
冷却方式	強制空冷
シリンダー数・配列	2気筒・並列
総排気量	338cc
最高出力	20ps/5,000rpm
始動方式	リコイル式ハンドスターター ※セルスターター取付可能。
燃料タンク容量	16.0ℓ
変速機型式	Vベルト式自動変速機
ブレーキ型式	キャリアー式ディスクブレーキ
トラック巾・数	460mm-Single
前照灯、尾灯、ストップランプ、方向指示器(前)つき。	(注)新雪走行性能：雪質によります
	が、歩行時に雪面がヒザ程度までなら走行可能。

小型・軽量プラス簡便な取扱いプラス敏し  
ようきわまる運動性——。スノーモビルはも  
はや雪国の生活に密着した乗物としてすで  
に確固たる地位をきづいていますが、このS-300  
Bはスノーレジャーの新しいジャンルを大き  
くきりひろくスポーティ型と開発されたもの  
です。いわば旋回性など運動性能を一段と強化した  
ものです。

エンジンはブラックマスクもかづよい18馬  
力単気筒オートループ2サイクルで、ネバリ  
強く、経済性もまた抜群。380mm巾のトラック  
は体重の移動を敏感に反映し、2本溝のエッ  
ジのきいたスキーとあいまって軽快な走行性  
能をもたらします。ドライバーの頭の高さま  
であるワイドな風防、アシスタントグリップ  
付のリヤバンパー、大型ヘッドライト、大型  
フラッシャーライト、強力ディスクブレーキ  
など、安全性にも細かな配慮がなされている



\*\*\*\*\*

# 盛況 ヤマハ クラブ

スポーツレジャー

合歓の郷に夏の一日を遊ぶ



合歓へ、合歓へ……ロードマスターSL仲間の整然としたグループツアー





スポーツレジャーの普及発展をめざして全国的な規模のもとに結成されたヤマハSLクラブは、陸に、海に、雪に、ヤマハならではの企画と企業力を示して、めざましいばかりの活動を展開しています。

クラブ員も増加の一途をたどり、休日ごとにバラエティの富んだ行事がひらかれ、その規模も大きくふくらむばかり。オートバイを共通の友達としてSLクラブはいよいよ本格化してきています。

サマーバケーションもたけなわの八月十四・十五の両日には、SL中部本部、SL関西地方本部合同主催のもとに三重県・合歓の郷に一五〇名におよぶSL仲間をあつめて、ヤマハ合歓の郷SLフェスティバル<sup>カ</sup>を開催、陸から海への華麗なるSLを楽しんだのもその活動の一端を示すもので、ツーリングに、キャンピングに、ボーディングに、充実した一日を過ごしたものでした。

この日あつまつたSL仲間は、大阪・京都奈良・和歌山、静岡をはじめ、遠く広島、山口などからかけつけた人もあり、フェスティバルは盛況そのもの。手作りのカレーライスに舌つつみをうち、ヘルメットを脱いでマリッジジャーに遊べば、また夜は花火に、フォークソングに、友情の輪を大きくひろげたものでした。

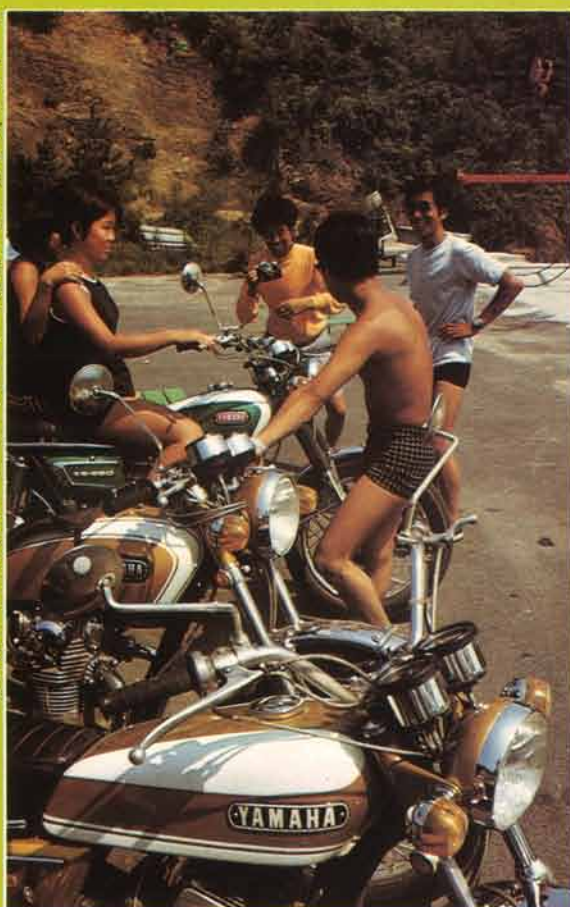






女性のSL仲間はモテモテ。だれです、メイトになりたいなんて……

ボートテイキングの楽しさを満喫する人もいて、SL行事はまさに最高潮



浜辺に乗りだしていつてひと泳ぎする人もあれば……

腹がへっては……で、なれぬ手つきで夕食づくり。これがまた楽しい



ソーレツ、チーズ。新鮮な大気のもと、野外の食卓を囲んで記念撮影



寝具をかついで、ネグラをつくろう



盛況!

ヤマハ  クラブ  
スポーツレジャー

花火に、フォークジャンボリーに、楽しいユメに、夜は静かに更けて……







ざん新なカラーリングのC X 300 Pシリーズ。イエロー、グリーン、オレンジが各¥4700、ニュータイプの普及品=黒つやけし¥4400、キャンディ¥4700



ちょっぴり楽しくなっちゃう女性用。バラ柄=A X 25 R、蝶=A X 25 B、ラーメ=A X 25 G。いずれも¥2400



セミジェットの本クロス型。右がB X 400 左がB X 800。ともにホワイト、¥3400



雨や風、ホコリなどから顔を守る風防は全製品共通（女性用を除く）。¥1200



ずらりタノモしいC X・ジェット型シリーズ。左手前のメタリックブルーに赤ストライプがC X 300 Y S = ¥7000。右端上がD X 700 = ¥7500、グリーンがC X 300 Y = ¥6500。あとのホワイト、ブルー、レッドは、C X 300とC X 500、C X 320で内装が異なっている。価格は、C X 300の赤 = ¥8000、白 = ¥7000、青 = ¥8000、C X 500は、白 = ¥7000、赤 = ¥8000、青 = ¥8000、C X 320はホワイトだけで¥7000。



メタリックゴールドに、ゴールドとブラックストライプの精悍さ、これはスノーモビル用K 3。¥5500

『安全』を売る新商品★★★★★★★★★★

# 新発売!! ヤマハヘルメット

4タイプ/22種のカラフル・ヤマハヘルメット。

すべてのお客さまに、二輪車を安全に楽しく乗っていただくための新商品です。

## 新ヤマハヘルメットは——

ヘルメットをかぶってオートループに乗ろう——と、まさきにヘルメット普及運動にのりだしたヤマハが、ヘルメット帽体のトップメーカー大日本インキと手を組んで開発をすすめてきた新製品で、構造、デザイン、安全性ともに十分な研究の成果をおりこんでつくられた一級品です。

## 4タイプ/22種の豊富なシリーズ

すべてのお客さまに二輪車を安全に楽しくお乗りいただくために、新ヤマハヘルメットは4タイプ/22種のカラーがあります。

- ① ツーリングはもとよりロードレース用にもできるジェット型——16種
- ② トレールランやモトクロスなどに最適のセミジェット型——2種
- ③ メイトやミニのご婦人用として、気軽にかぶれる女性用——3種
- ④ スノーモビル用——1種

ほかにヘルメットと共に風や雨から顔を守るヘルメット風防(女性用を除く全製品共通)の用意もあります。

とくにデザイン面では新感覚をとり入れ、楽しい気分で愛着のもてるものとなりました。

## 高度な安全性にご注目ください

ヘルメットは不時の転倒から頭を保護するためのもの。たんなる装飾品であってはなりません。

新ヤマハヘルメットは、この点でも安心してご使用いただけるJ I S規格認定品です。たとえば、女性用はJ I S規格一種合格。そのほかのものはすべてJ I S規格二種に合格するもので、さらにヘルメット規格としては世界的にも権威あるアメリカ・スネル規格のZ90に認定と、安全面での裏づけも十分な新製品です。

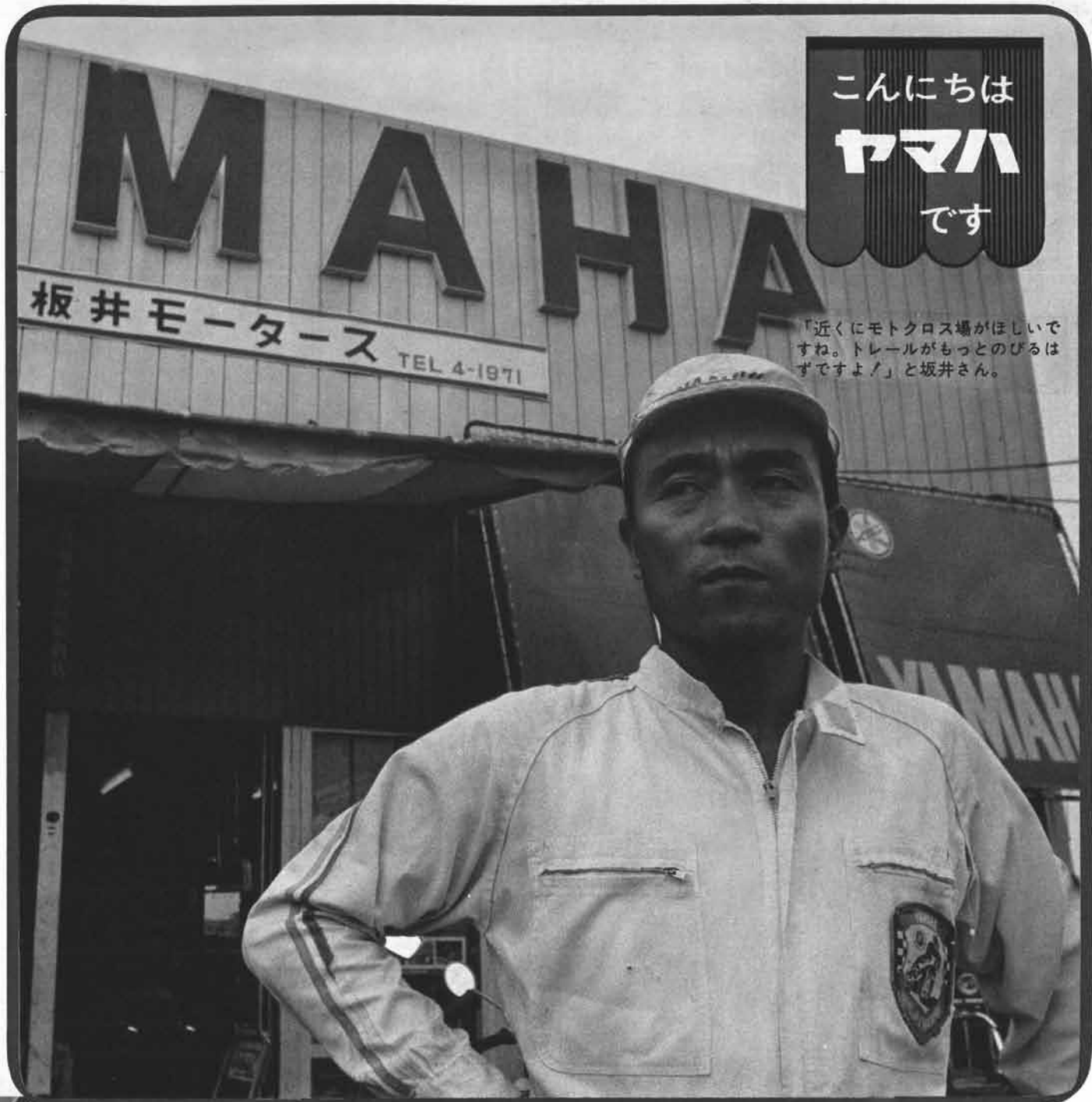
## ヘルメットは必需品です——

いままでも、自動車道など指定された道路を通行する場合はヘルメットの着用が義務づけられていますが、来年5月からは「原付2種以上の二輪車で、最高速度40km/h以上の道路を走る場合はライダーはすべてヘルメットを着用しなければならない」と、その適用範囲が広がられます。

つまり二輪車にはヘルメットがつきものとなったわけです。

新ヤマハヘルメットの発売を機会に、お店でもお客さまの安全をリードするよう働きかけてください。





こんにちは  
**ヤマハ**  
です

「近くにモトクロス場がほしいですね。トレールがもっとのびるはずですよ」と坂井さん。



「ニューメイトはよく出ますね。スポーツもデザインが今の若者達に受けるんでしょう。あと4サイクルが二、三種ふえたらいいですね」

# アフターサービスを身上として

~~~~~ 大分市北下郡 板井モーターズ ~~~~~

長い修理工生活からきたえあげた、メカニックのことなら知らないことなしの腕前を武器に、アフターサービスに徹底することが自分の行き方だと、派手なPRもなしに内側から着実にお客さんを拡げていっている大分市の板井モーターズさんをご紹介します。

## お客さまとの心の通じ合い

大分駅から県道の大分・白杵線を車で五分、大分川にまたがる滝尾橋を渡ったところに板井モーターズさんは位置しています。このあたりはかなり交通が激しく、往き交うトラックや乗用車の間をぬっているオートバイの若者が時おりお店に入ってきます。ご主人の板井省三さん（35才）は、点検中のオートバイの間から一見おこっているような顔をあげて応じています。そのやりとりを聞いてみると、ずけずけものをいう調子が客と店主というより、たいへん気心の知れあつた仲間同志とい

板井さんご一家。右の二人はかよいの店員さんとお客さま。



う感じを受けます。若者達もこの実直なオヤジの腕を信用して慕い寄ってくるという様子でした。ご主人も20代のつもりでいるということ、自分の売ったオートバイは自分のオートバイも同じという面倒みの良さが客を惹きつけ、心の通い合ったコミュニケーションを成立させているといえましょう。

## ヤマハ販売店めぐりのメカニク修業

22才までは実家の農業を手伝っていました。少年時代からのオートバイ熱がこうじて大分市のヤマハ販売店、岡田モーターズに住みこみの修理工として就職、以来、別府や大分のオートバイ店を転々としてメカニクの修練に励みました。その後、いまのヤマハ大分の前身、トヨペット商事に入社して四年間のセールスマン生活のち独立、はじめ大分市内に店を構えましたが、将来性のことも考えて二年前に現在の場所に移転、広くなった店舗と修理工場で順調な商売を続けています。ことに最近になって大分市内の目抜き道路などがほとんど駐車禁止になったため、車を道路に置くことができないうで困っている店が多いというのに、禁止区域をはずれた板井モーターズさんでは店の前の広いスペースを存分に活用できるので商売にはたいへん有利だと意外なことの好転に喜ぶと共に、店舗設置場所の重要性を新たため感じたとのことでした。

## 聞いてもらいたいフレンド店のいい分

前にも書いたように板井さんは、ずい分とはつきり物をいう人です。

ヤマハのやることで良いところはほとんど持ちあげるかわり、いけないと思うことはびしびし指摘してディーラーに直言する。最近の店舗用の飾りはペラペラ紙や切れやすいヒモでできていてすぐこわれる。もつとがっしりしたものにしろということや、らくらく書きコンテストにもデータ欄を多くして、家族の状況を全部書かせればおのずとオートバイを買いそうな家が見つけれ出せるはずだということ。XSの4サイクル技術をせめて350ccまで拡大すべきだ等々……。

根っからのヤマハ育ちで、ヤマハが可愛いから文句もいわせてもらおうのだということですが、文句がたんなる苦情で終わっていないところに板井さんのヤマハに対する心情がうかがえます。

+++++

25坪程のお店の一角、きれいに整頓されたショールームには、ヤマハの新車がズラリとならんでいます。そここに植木鉢が置かれているのは、若く美しい秋子夫人の心づかいでしょうか。典子ちゃん（7才）と洋子ちゃん（5才）の可愛らしいお嬢さんに囲まれたご主人はたいへん幸せそうです。これからサービスを身上にやる気十分の板井モーターズさんでした。

# ヤマハ 会スポーツ走行教室



## スポーツ走行 教室開く

## GPライダー・本橋選手のコーチで

愛車でサーキットを飛ばしてみたいノオー  
トバイクに乗る人なら誰でも一度はユメに見る  
ことです。

そこで、サーキット走行を楽しみながら、  
高速ライディングテクニクも一緒に学んじ  
やおうと、ヤマハSLクラブ関東地方本部で  
は、八月十一日、茨城県の筑波サーキットに  
三〇名のSL会員を集め、GPライダー・本  
橋明泰選手を講師に迎えて「SLクラブスポ  
ーツ走行教室」を開催しました。

じっくり学んでもらえるよう人数も三〇名  
に制限、本橋選手の講義や写真会のあと、勇  
躍サーキットに飛び出した会員たちは、スポ  
ーツ走行の第一歩から、ブレーキング、ギャ  
チェンジ、コーナリングまで、超一流講師の  
きめ細かい指導のもとに走り込んでいきます。  
全予定を終了したころには、これが最初こ  
のコースをあんなにスローペースで走ってい  
た人たちかと疑いたくなるほど、本橋選手も  
驚くほどの上達ぶりでした。

XSやRX、DXなどの会員がほとんどで  
したが、今回の教室受講生は、筑波サーキット  
ライセンスが取得できるとあって、ほとん  
どの人がこの次はロードレースへと早くも胸  
はずませていました。



## 二十四時間耐久テスト で高性能発揮

/// タイ ///

鈴鹿十時間耐久レースで、DX250が数々の新記録を樹立して優勝したのは前号でご紹介したとおりですが、こちらタイではバンコックのヤマハ総代理店サイアム・ヤマハが市場で好評のヤマハ100cc L2Gの二十四時間耐久テストを行いました。

朝八時から翌日の朝八時まで、休みなしにフルに二十四時間二人のライダーが交替で、ファ・マークのサーキットを走らせ続けたのです。結果はむろんノン・トラブルで走破、この苛酷なテストを見事に耐え抜き、抜群の安定性と耐久性を発揮しました。

なお、このテストのメインライダーは、先日トレーラー研修生として来日したP・チュラモントン君でした。



## ユーザーガーデンパーティー ————— パキスタン



ヤマハの西パキスタン代理店シャイク・オート社セールスマネージャーM・A・ラシード氏が主催したヤマハユーザーのためのガーデンパーティーのスナップです。

写真右がラシード氏、中央は大学生で大のオートバイファンであるN・アメッド君ですが、ここ数年間いろいろな車を使用しましたが、ラシード氏の店からヤマハ100cc L2Gを買い入れたあとは、これこそ自分にピッタリの車だと他車には目もくれません。

バックは、パキスタンの建国者モハメッド・アリの碑だそうです。



# 彼女も ニューファンに ★オーストラリア★

写真のチャーミングな女性はオーストラリアのOLイボンヌ・スカイアさん。  
最近メルボルンで開かれた慈善団体の抽せん会でみごとヤマハの小型船外機P-45（2馬力）をひきあてたのです。  
ところでイボンヌさんはこれまでウォータレジャーの経験が全くなく、この景品にちよつとばかり戸惑っているようですが、ヤマハ製品のみ力はどうやらこのレディーのハートをとらえたようで、こんどはボートを何とかして手に入れることを考えているとか。

## 家族ぐるみ ヤマハファン

スペイン



ヤマハ船外機のスペイン代理店経営のグリマさんは、家族そろって日本びいき、そしてヤマハ製品のファンです。  
グリマさんは四月に来日、ヤマハ各工場を見学しましたが、躍進ヤマハの実態をまのあたりに見てすっかり意を強くしたようです。  
写真は来日の土産にもとめた和服を着て勢ぞろいしたグリマさん一家。





## フットボールチーム オランダ 活躍



そろいのヤマハシャツでせいぞろいしたアマチュアフットボールチーム。  
オランダ・アムステルダムヤマハモーター・N・V傘下のディーラーが編成したものが、目下連戦連勝の成績をおさめているそうです。  
オランダは、ヤマハの欧州市場活動の中心になっていますが、各ディーラー工夫をこらしてヤマハブランドのイメージアップに努力しています。

日本でもかつて富山の販売店さんが手がけたことがあります。二五〇ccツインのYD S3エンジンを二基使って、アメリカ、メキシコのマニアが五〇〇cc四気筒のマシンを製作しました。  
手始めの仕事は、クランクケースの全面的な再加工で、四シリンダー用のクランクシャフトが収まるように改造されました。  
コンポーネントはすべてスタンダード型のものが使用されたそうです。  
フィン、センターシリンダー、ヘッドの両側からトリムされ、中心線から中心線までの九九ミリのスペースどりはそのまま変更されず、トランスミッションとクラッチは、エ

ンジン部の左くぼみに位置し、同じシャフトで駆動される二つのオートループポンプが、エンジン部右くぼみにとりつけられました。  
フレーム改造は、スタンダード型のマウンティングボスを特別のものと取りかえることにより、エンジンの中心をきめることがポイントになりました。  
このユニークな四気筒ヤマハの中は、スタンダード型ツインよりも約二七センチ広くなり、マシンの総重量は大体一八五キロほどになりましたが、ハンドリングは上々、加速も満足できる数字が得られたそうです。  
(CYCLE WORLD 誌より)



Material was removed from each side of the two center cylinders to retain the standard 90-mm centerline-to-centerline spacing. No overhauling problems have been encountered.  
The Yamaha YDS-3 looks perfectly standard except for the four exhaust pipes. Engine is now 7.79 in. wider than standard. Engine mounts had to be relocated.

# ツイン・ツインヤマハ TWIN TWIN YAMAHA =アメリカ=

# オーストラリアで 働くヤマハ



▲放牧の見まわりに……



▶ときには湿地原をとばしてみたり……



▶牧羊犬をのせて……

オーストラリアといえば、すぐ思い出すのは広々とした原野に放し飼いにされている無数の羊であり、高級服地になる良質の羊毛でしょう。

この国について我々が知っている他のことといえば、アボリジンと呼ばれる世界で最も原始的な生活をしている土人であり、彼等独特の武器ブーメランであり、また荒野をどびはねているカンガルーぐらいのものでしようか。

ともかく、海のはるか彼方の遠い異国だというのがオーストラリアについての最大公約数的な印象でした。

しかし、この遠い国オーストラリアは現在急速に日本に接近しつつあります。

英国のEC加盟によって、従来の英国べつたりの経済体制が根底からゆすぶられることになってしまったのです。

英国に代るオーストラリアの貿易パートナーは、日本をおいてほかには無いというのがオーストラリア人一般の考えになってきています。

## ＊ヤマハオートバイの人気高まる＊

K・キャラサース、H・アンダーソンら世界のチャンピオンを生んだオーストラリア、ニュージーランド地域はロードレースが非常にさかんですが、ラフな地形を生かしたモトクロス、トレールライディングも急速にファンの人気を獲得しつつあります。

各地のスポーツでヤマハ製バイクは常に上位を占め、高品質、高性能をファンに強烈に

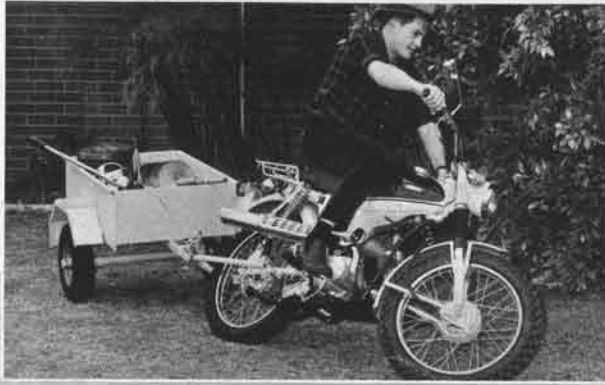




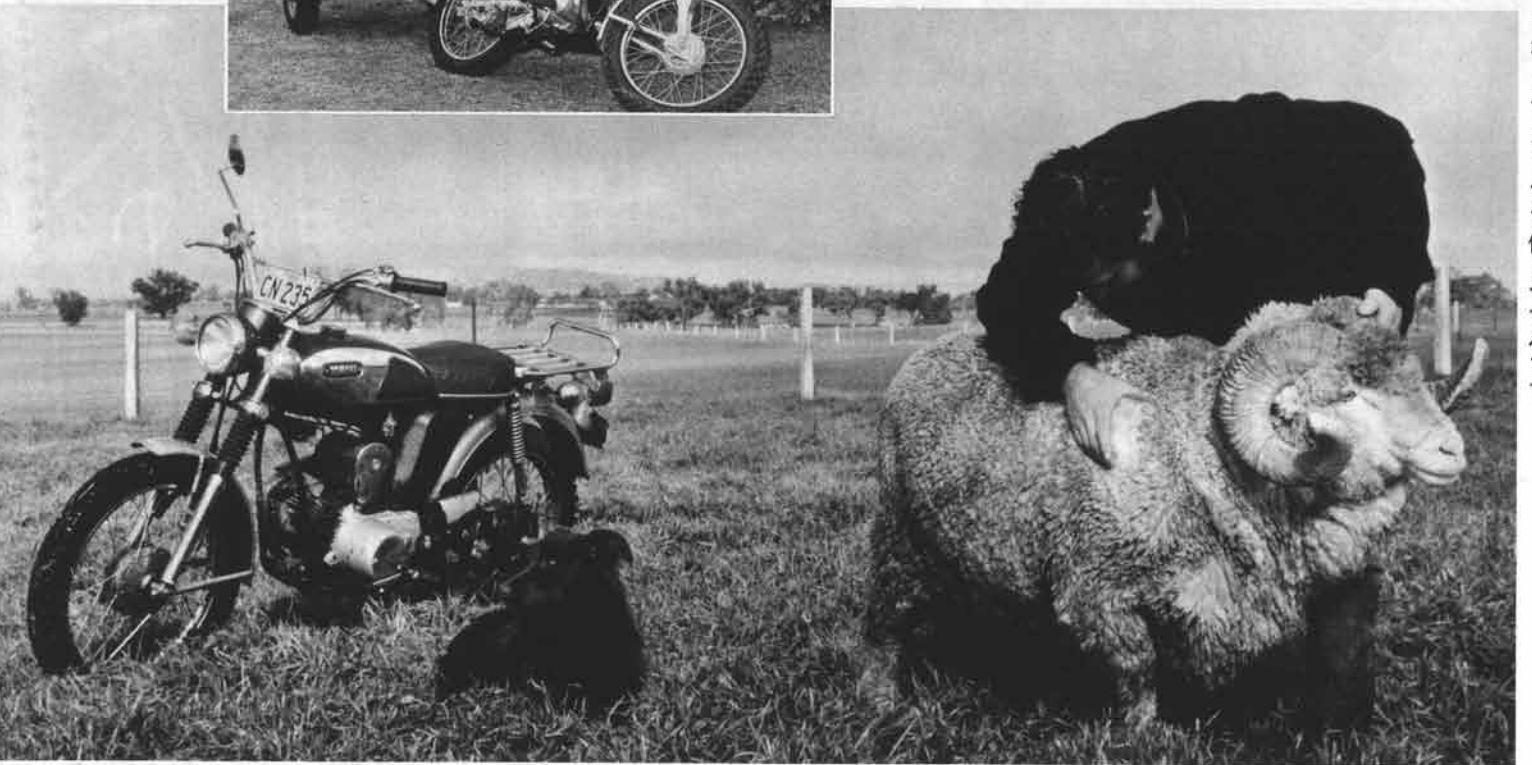
▲水源地の見まわりに……



◀チェーンソーをのせて木材の切り出しに……



◀リヤカーをひいて農場へ(100L2C)



◀オーストラリアで働くヤマハです。

印象づけていますが、こういった面での活躍に併せて、ヤマハオートバイは、オーストラリアの基幹産業である羊毛採取のための羊放牧管理の機動力として珍重されています。

現在この国で放牧される羊の数は一億七千万頭という途方もない数になっています。この羊の管理の機動力として馬が専ら使用されていましたが、三年ほど前、世界最大の羊毛採取業者フォルキナー社が、ヤマハ一〇〇ccトレールマスターを、馬の代りに試用しましたが、経済性、能率の点で、ヤマハははるかに馬にまさることが実証されたのです。

オーストラリアらしいユニークなオートバイの使い方だといえますが、ヤマハの効用はこれだけにとどまらず、放牧牛の管理、点検するダムの見廻り、農具、工具の運搬用など、荒野の足としてすぐれた機動性を発揮しているのです。

日本とはけた違いに大きな面積をもつこの国は、日本ほど電車、バスといった一般交通機関が発達してなく、輸送は専ら四輪車に頼ることが多く、世界の各メーカーが現地で組立生産を行ってきましたが、市場の規模からいって、乱立気味だとの印象が強くなり、どのメーカーも生産、販売体制の再検討の時期に入っているようです。

この点オートバイ市場は、日本製品の独壇場と言つてよく、ヤマハは着実に輸出货量を増しています。日本との経済連けいが強まるにつれ、オートバイ市場の規模も更に大きくなるのが期待されています。

# あわの道ヤマハの道

初のビッグツーリング・立案から決行まで

東京都足立区  
多田輪店  
多田 芳明さん



ツーリングのコース

磐梯山をバックに記念撮影。左から小笠原、増子、多田、岩崎、加藤、中村、奥村の諸氏。

トレール教室、スポーツ教室、運転免許教室、Sレクラブをはじめ、需要を創造する諸活動を積極的に展開しているスポーツ店さん、フレンド店さんが目立っています。このページでは、これらのお店のさまざまな活動ぶりを毎号紹介していきます。発展するお店のご参考になることでしょう。

今回は、長距離ツーリングをどう成功させたか。東京都足立区の高田輪店さんと、足立オート・ブルースカイの役員から、お話をうかがいました。

## 目的地の設定も民主的に

◆6月10日 多田輪店を拠点としたツーリングクラブ「足立オート・ブルースカイ」では、毎月一回は日帰りのロードツーリングかバーベキューツーリングを開き、会員以外の人びとの参加も得て、盛況である。しかし、XS650のような大排気量車が普及するにつれ、長距離ツーリングをしたいという会員もふえてきた。今日もミーティングで、そんな話題が出され、ひとつ一泊ツーリングのプランを

練ってみようということになった。

◆6月27日 毎日、夕方になると、勤めを終えたクラブの会員たちが、店に顔を出す。一泊ツーリングの目的地をどこにするか、個々にたずねると、東北方面という希望が圧倒的だ。とても一泊では無理だろう。

◆7月1日 役員が集まって、プランを練る。役員は会長の加藤さん、監査役兼書記の奥村さん、岩崎さん、増子さん、それに多田輪店の経営者、多田さんは会計を受持っている。コースは東北方面。蔵王にポイントをおくことに決まる。

◆7月3日 コース、日程、費用についての基本的なプランを会員に提示して、賛同を得る。

◆7月4日 いよいよ、細部にわたってのプランづくりに入る。(留意点) 二泊三日という行程だと、休日をとる都合もあるし、費用もかさむので、準備に一カ月ぐらいの余裕がないとこまる人も出てくるだろう。早めに計画を発表することが必要だ。

## 父兄にもスケジュールを知らせる

◆7月5日 昨夜にひきつづいて、プランを練る。地図をたよりにコースを調べ、キロ数から走行時間や休息場所など、決めるわけだ。(留意点) 三日にわたる行程を最終走りっぱなしでは、参ってしまう。そこで、一日目は、「走り」に重点をおく。最初の日は、みんな張切っているし、距離を延ばしても心配ない。二日目は走行距離をへらし、遊びに重点をおく。三日目は観光ルートだ。(留意点) 日を追って疲労が重なることを考慮して、走行距離を考えていかなければならない。(留意点) 仙台の七夕とタイミングがあうため、交通状況の予想を現地の警察署に問合わせる。特別な交通規制はないという返事。

◆7月10日 二泊三日、蔵王エコーライン





吾妻スカイラインをゆく。



クラブの会員に発行される  
会員証、バッジ、ワッ  
ペン、クラブ旗。



今日も話題はツーリングのこと。  
左から多田さん夫妻、奥村さん  
(書記兼監査役) 中村さん。



父兄の同意書

### 家族へ「無事到着」の電話

ツーリングの計画を発表する。(留意点) 未成年の参加希望者には、スケジュール表、注意事項にそえて、申込同意書を父兄に渡し、了承してもらおう。いつ、どこを走っているのかを知っていれば、父兄の心配もやわらぐだろう。

◆8月7日 当初、参加希望者は多かったが、お盆休み前なので、急に都合がつかなくなった者も多く、実際の参加者は七人になってしまった。XS 650をはじめ、メンバーのすべてがヤマハの自動二輪車の愛用者である。

◆8月8日 予定より三十分おくれて、午  
前四時三十分、多田輪店前をスタート。水戸  
—いわき—相馬をへて、仙台へ。(留意点)  
日帰りツーリングでは、いつもベテランが先  
導としんがりをつとめ、列からはみ出たりす  
る者があると、注意をし、整然としたツーリ  
ング風景を展開するのだが、今日は運転技術  
のすぐれたメンバーばかりなので、お互いの  
距離も十分とって、かなり自由に走行する。  
いつものツーリングだと、初心者の面倒をみ  
ながら走るため、神経が疲れるベテランたち  
も、今日はのびのびと走っている。

仙台の七夕とぶつかったため、道路が混雑。  
予定よりおくれる。第一日は、湯ノ沢にあ  
る多田さんの実家に宿泊。経費がグリーンと節  
減できた。(留意点) 東京へ、無事到着の電  
話をする。とくに未成年者の家族に安心して  
もらうためだ。

◆8月9日 山寺—上山をへて蔵王へ。曲  
りくねったエコラインをグングン登ってい  
く。蔵王の噴火口を見物していると、二人の  
若者から声をかけられる。「SLクラブの九  
州一周ツーリングで一緒でしたね」と。思い  
がけない場所でのSL仲間との出会いに感激  
する。聞けば北海道ツーリングの帰りだそう

だ。米沢から粟子トンネルを抜け、信夫高湯  
の旅館に泊まる。ここからも、会員の留守宅  
へ電話連絡。

◆8月10日 吾妻スカイラインを走って猪  
苗代、会津若松、五十里湖へ。予定では鬼怒  
川を走って宇都宮に抜けるつもりだったが、  
道路が工事のため、変更して、塩原から国  
道四号線に抜ける。(留意点) 事前のコース  
調査の必要性が痛感された。SLクラブの組  
織が拡大されて、会員同士、情報を交換でき  
るようになれば、都合がいい。

### 予算はゆとりをもって

◆8月11日 ツーリングの会費は一万五千  
円だったが、実際の経費はガソリン代から食  
事代まで含めて、一万円以内ですんだ。(留  
意点) 会費は余裕をもって集めるのがコツ。  
不足分を徴収するのは、お互いに不愉快だから。

◆8月15日 恒例のツーリング反省会も、  
みんながいそがしいので、延び延びになっ  
ている。いつもはトラックが乗用車に伴走す  
るので、8ミリ映画を撮って、走り方などを検  
討するのだが、今回は伴走車なしで走ったの  
で、それができない。参加者は、それぞれ長  
距離ツーリングの経験のある人ばかりだが、  
足立オート・ブルースカイの主催では、はじ  
めての長距離ツアーだった。

みんなが感じたことで共通している点は、  
千百キロにわたる行程にもかかわらず、意外  
に疲れなかったこと。もっとツーリング経験  
の浅い人でも参加できるのではないかと思う。  
(留意点) 統制のとれた団体ツーリングは、個  
人で勝手に走るよりも、運転技術の向上に役  
立つ。最初は日帰りツーリングに何度か参加  
して、運転技術をみがいたら、どんどん長距  
離ツーリングに加わってもらいたい。同時に、  
クラブ結成以来の無事故記録を、いつまでも  
保持したいものだ。

# ヤマハサービスコーナー

セールスの方、サービスの方、そして事務の方、お店のみなさんで  
ご覧ください。お客さまをお迎えしたときの“話のタネ”に絶好です。

むかしの人は、はきものを見て人を判断したといひます。この伝でいけば、さしずめタイヤ、ホイール関係を見て、お客さまの使用状況を判断できるのがサービスマンのサービスマンたるどころといえましようか。

折から絶好のオートバイシーズン。レジャーにビジネスに、一日をフルに走るお客さまが多いというもの。タイヤ、ホイール関係にも注意の目をむけて、安全に楽しく快適な乗車をねがおうではありませんか。

## ■ タイヤ、ホイールの管理

### 1. タイヤの空気圧

ボンボンはねず、グニャグニャしなけりやそれでいいんだ——という長年のカンをいかしたタイヤ空気圧の測り方もあるでしょうが、これではお客さまの信頼は得られません。やはり、タイヤゲージを使って正規の空気圧を保つべきです。

一般にタイヤ空気圧が低すぎると、タイヤトレッドの両端の摩耗が目立ち、反対にタイヤ空気圧が高すぎるとトレッド中央部の摩耗が早くなります。

安全を守ると同時に、快適な乗り心地とタイヤの経済性を高めることから正規の空気圧を保つようサービスしたいものです。

ヤマハ各車の規定のタイヤ空気圧（1人乗り）は——

| 車種                          | XS650/RX350<br>DX250/AX125<br>HX 90 | RT360<br>DT250 | 175CT<br>AT125 | HT 90<br>125AT | HB90/V 90<br>JB60/V 70<br>FB50/V 50 |
|-----------------------------|-------------------------------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------------------|
| 前輪<br>(kg/cm <sup>2</sup> ) | 1.6                                 | 0.9            | 1.0            | 1.5            | 1.4                                 |
| 後輪<br>(kg/cm <sup>2</sup> ) | 2.0                                 | 1.1            | 1.2            | 2.0            | 2.0                                 |

### 2. トレッドの摩耗

空気圧は常に正規に保っていても、走行距離に応じてタイヤトレッドは摩耗してきます。安全を考えればやはり早目に交換することです。タイヤがツルツル坊主になるまで乗ったからといって、必ずしも経済的になるものではありません。転倒の危険、また転倒による損害を考えれば、お客さま自身が納得してくれるはずで。

タイヤトレッドの溝の深さが1.6mmをすぎたらもう交換です。

### 3. タイヤの異物噛込み、破損

新品のタイヤだからといってむとんちゃくでいいというものでもありません。

路面状況や使用状況の変化によって金属片やガラス片といわず、破石などを噛んだり、タイヤの側面を削ったりして、タイヤトレッドやサイドウォールを破損させ、それがパン

クやバースト（破裂）を招きます。

遠乗りに出かけるときはもとより、日常点検の一つとしてタイヤをチェックするよう呼びかけましょう。

### 4. リムの振れ

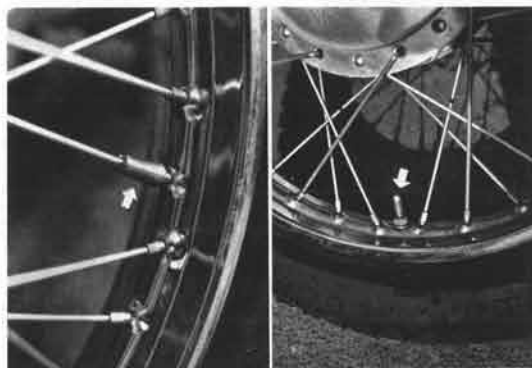
スポークの張りが不均衡であったり、悪路でスピードオーバーしたりするとリム振れを起したり、リムを凹ましたりして走行安定性をそこなう原因となります。

スポークのゆるみは初回（1ヵ月、500km）点検で増締めし、以後は6ヵ月ごとの点検が必要です。スポークニップルの締めつけトルクは均等に15kg-cmの力で締めます。

またリムの振れは2mm以内におさえます。

### 5. ホイールバランス

小排気量車の場合、自ずと速度が限られており、ホイールバランスの問題で走行安定性が乱されるということは少ないのですが、ホイールまわりの重量も大きく、また速度性能が向上している大排気量車にあってはホイールバランスの調整にも気を配ることが肝要です。ホイールバランスに狂いがあると、高速でハンドルまわりに小刻みな振動が発生し走行安定性がそこなわれるからです。

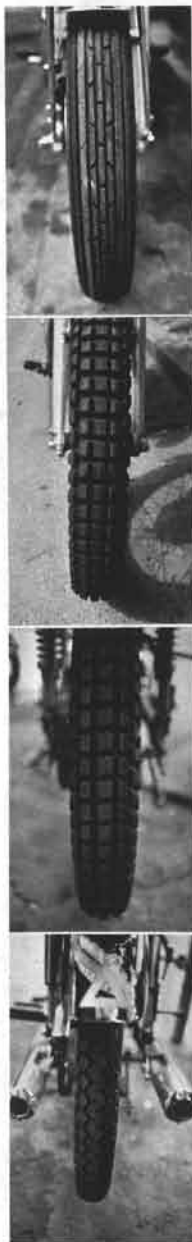


balanサー（矢印）とトレールシリーズのビードストッパー（タイヤまわり止め）

この調整は、スポークニップルに balanサーを取付けることで簡単に修正することができます。 balanサーとしては、太目のヒューズ線を用いれば作業は簡単です。

ホイールを空回わりさせて、その静止位置が常に一定であれば、下側にあたるところが重いわけですから、上側のスポークニップル部に balanサーをつけて調整するわけです。

またタイヤを新しく交換する場合は、サイドウォールに注意し、黄色または緑色でうすくマークしてあるところをバルブ位置に合うように取付けます。これはホイールバランスを保つための目印なのです。





# 【——使いやすさを増して販路拡張——】 ヤマハ汎用エンジンMT-110

土木建設機械、農機具、芝刈り、運搬用モノレール、吸排水、そして海苔摘み作業の動力源として巾広く活用されているヤマハ汎用エンジンが、さらに使いやすさを増して好調な売れゆきをみせています。あなたのお店の周囲にも、たくさんのお客さまがいるはず。売上げの増進にヤマハ汎用エンジンをぜひお加えください。

## MT110-B (海苔摘み機用)

### プラス10の使いやすさ

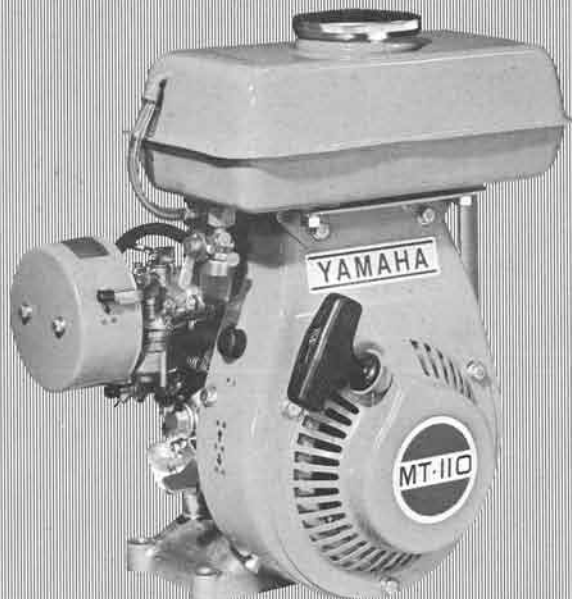
- 1 取付けボルトを改良。海苔摘み機とのセットが容易
- 2 完全防水、防錆加工で耐久性向上
- 3 スタータ付キャブレターで始動は一発
- 4 リコイルスターターは好みの角度に調節可能
- 5 スロットルレバーは右、左どちらにも取付け可能
- 6 エヤカバーを新設。厳寒時での低速長時間運転も抜群の性能
- 7 軽量 (22kg)、コンパクト
- 8 取手を改良。持ち運びが便利
- 9 大型マフラーで静かな排気音
- 10 始動、運転、停止はすべて外から操作が可能

## 仕様(MT110-B)

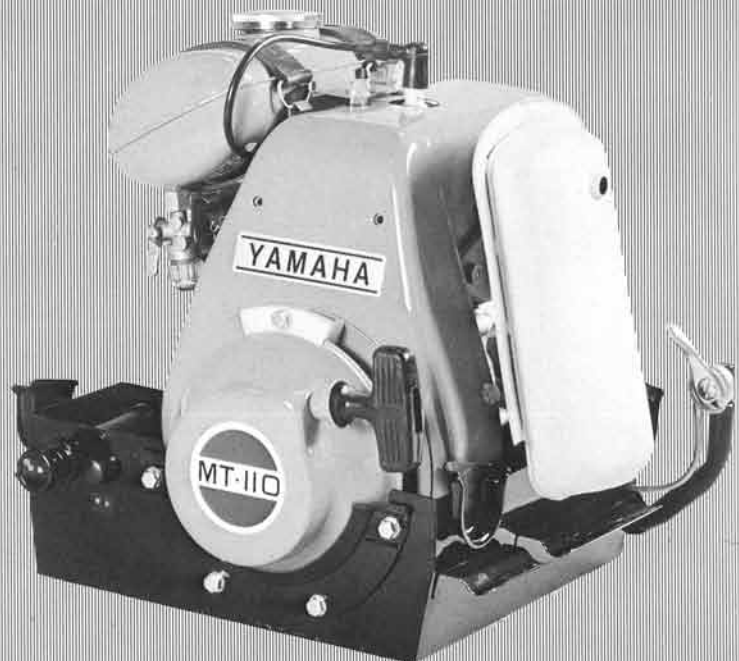
|       |                  |
|-------|------------------|
| 種類    | 強制空冷2サイクルガソリン機関  |
| 総排気量  | 106cc            |
| 最高出力  | 4.3PS/2428r.p.m. |
| 常用出力  | 3.0PS/1845r.p.m. |
| 燃料消費率 | 370gr/PS・hr      |
| 回転方向  | 出力軸に向って右回転(左回転)  |
| 潤滑方法  | 燃料混合式25・1        |
| タンク容量 | 1.5ℓ             |



海苔摘み機とセットで働くMT110-B



標準型のMT110



カバーを外したMT110-B もちろん海苔摘み機以外にも使用可能

## このテレビCFがシーズンに

新しいスノー・レジャーの世界をつくったヤマハスノーモビル。スポーツはもとより、ビジネス用としても大活躍です。これはそのヤマハスノーモビルのテレビCFの一場面。シーズンの到来と共に放映されます。

